

# 地域(農村)－ 農業・農村の多面的機能と環境保全 －

## 【農業・農村の多面的機能】

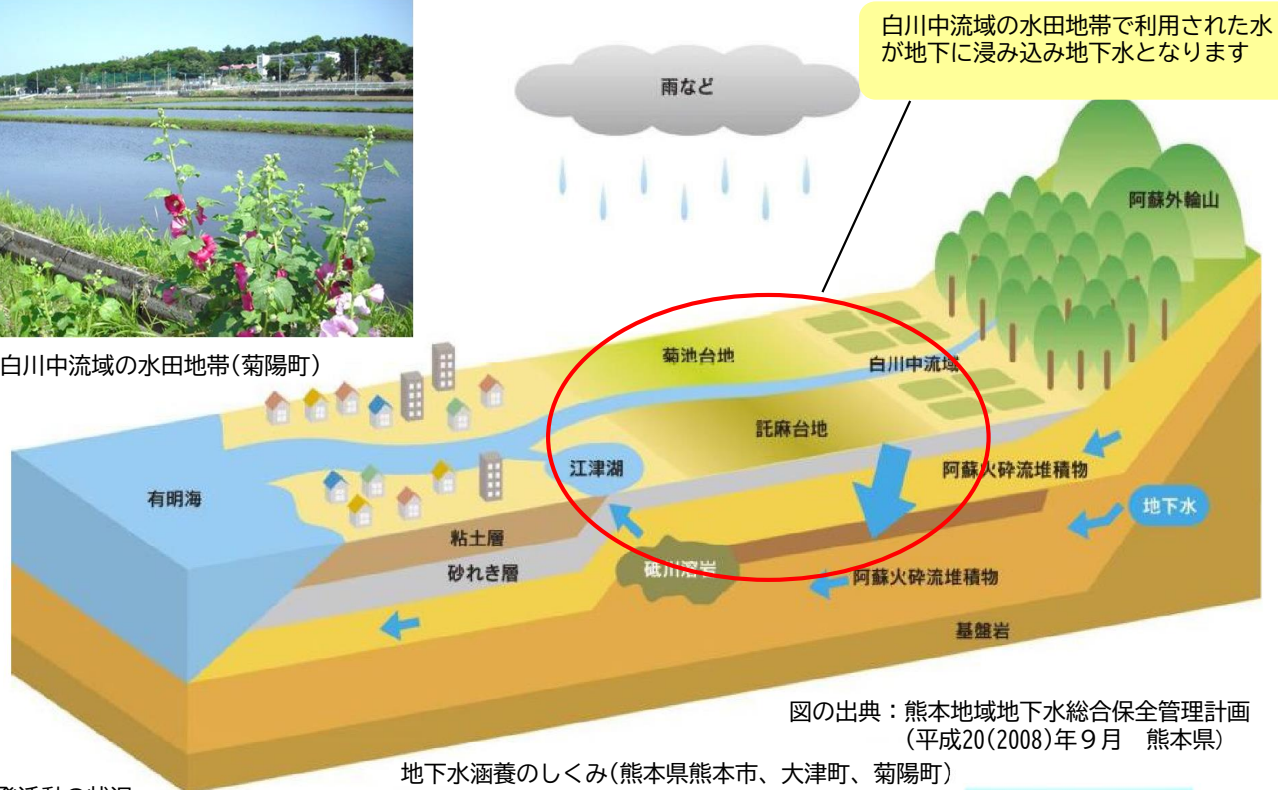
農業・農村は、食料を供給する役割だけでなく、農業生産活動を通じて国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全、美しい景観の形成、文化の継承等、様々な役割を果たしています。

例えば、水田は、雨水の一時的な貯留、洪水や土砂崩れの防止、地下水の涵養などの多様な働きを有しています。また、伝統的な祭事により文化を受け継いだり、自然や多様な動植物と触れあう体験により農業・農村への理解を深めるなど、農村の文化や環境を活用した様々な取組が地域の創意工夫の下で行われています。

### ○地下水を涵養する働き



白川中流域の水田地帯(菊陽町)



図の出典：熊本地域地下水総合安全管理計画  
(平成20(2008)年9月 熊本県)

地下水涵養のしくみ(熊本県熊本市、大津町、菊陽町)

### ○普及啓発活動の状況



■道の駅等でのリーフレット設置

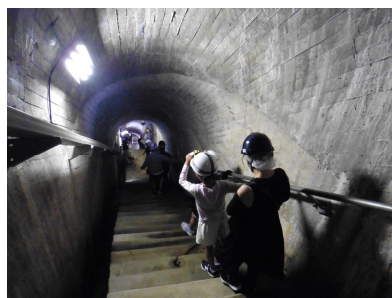


多面的機能  
農業・農村のいろいろな働き

■動画、リーフレットによる紹介



令和7(2025)年度九州「農地・水・環境全」フォーラムin宮崎



令和7(2025)年度佐賀平野「水と歴史」の探検隊

■地域イベントでのPR



令和7(2025)年度夏休み特別イベント

■体験学習でのPR

## 【多面的機能支払交付金による支援】

農林水産省では、農業農村の多面的機能の発揮につながる農地や水路等を保全する地域ぐるみの共同活動を多面的機能支払交付金により支援しています。その活動は、令和7(2025)年3月末現在、九州では約26万haの農地(九州の農地約5割)において、3,773の活動組織に、農業者・非農業者合わせて約42万人・団体が参画しています。また、農地維持支払活動の対象とする農業用施設は、水路約5.5万km、農道約3.5万km、ため池約6.3千箇所となっています。

この活動に対して、活動組織構成員からは、「遊休農地の発生を抑制し地域資源の適切な保全管理に寄与している」、「多様な主体が参画した農村の地域コミュニティの維持・強化に結び付いている」、「農地集積や集約に向けた話し合い等が行われ構造改革の後押しや地域農業への貢献に寄与している」等の効果の声があがっています。

### 令和6(2024)年度実施状況(令和7(2025)年3月末現在)

| 県名   | 農地維持支払 |          |                | 資源向上支払(共同) |          |           | 資源向上支払(長寿命化) |          |         |
|------|--------|----------|----------------|------------|----------|-----------|--------------|----------|---------|
|      | 活動組織数  | 取組面積(ha) |                | 活動組織数      | 取組面積(ha) |           | 活動組織数        | 取組面積(ha) |         |
|      |        | うち広域活動組織 |                |            | うち広域活動組織 |           |              | うち広域活動組織 |         |
| 福岡県  | 893    | 17       | 37,067(53%)    | 718        | 17       | 32,892    | 167          | 16       | 13,466  |
| 佐賀県  | 613    | 22       | 35,782(69%)    | 597        | 22       | 35,362    | 455          | 21       | 30,971  |
| 長崎県  | 264    | 12       | 14,972(37%)    | 210        | 12       | 13,925    | 164          | 11       | 11,772  |
| 熊本県  | 436    | 54       | 73,013(63%)    | 294        | 52       | 68,361    | 263          | 52       | 52,816  |
| 大分県  | 581    | 24       | 24,604(42%)    | 446        | 22       | 22,022    | 120          | 19       | 11,803  |
| 宮崎県  | 420    | 30       | 27,331(46%)    | 275        | 25       | 20,879    | 221          | 23       | 14,182  |
| 鹿児島県 | 566    | 39       | 48,409(48%)    | 476        | 39       | 46,298    | 256          | 38       | 34,168  |
| 九州合計 | 3,773  | 198      | 261,178(53%)   | 3,016      | 189      | 239,739   | 1,646        | 180      | 169,179 |
| 全国   | 25,283 | 1,051    | 2,329,749(57%) | 20,070     | 989      | 2,087,560 | 11,124       | 778      | 806,639 |

資料：農林水産省農村振興局「令和6年度多面的機能支払交付金の実施状況」、取組面積の()は対象農用地に対するカバー率

| 県名   | 農地維持支払活動の対象とする農業用施設 |         |         |
|------|---------------------|---------|---------|
|      | 水路(km)              | 農道(km)  | ため池(箇所) |
| 福岡県  | 9,014               | 5,707   | 1,501   |
| 佐賀県  | 8,796               | 5,565   | 1,345   |
| 長崎県  | 3,611               | 2,352   | 946     |
| 熊本県  | 11,416              | 7,781   | 688     |
| 大分県  | 5,957               | 3,846   | 818     |
| 宮崎県  | 7,078               | 2,695   | 391     |
| 鹿児島県 | 9,356               | 7,529   | 597     |
| 九州合計 | 55,228              | 35,476  | 6,286   |
| 全国   | 426,943             | 247,444 | 47,071  |

資料：農林水産省農村振興局「令和6年度多面的機能支払交付金の実施状況」

※県別値の小数点以下を四捨五入している関係で、合計値と一致しない場合がある。

416,061人・団体

| 県名   | 対象活動組織の構成員内訳 |         |         |            |
|------|--------------|---------|---------|------------|
|      | 農業者個人        | 農業関係者団体 | 非農業者個人  | 農業関係者以外の団体 |
| 福岡県  | 31,989       | 729     | 24,939  | 2,499      |
| 佐賀県  | 26,161       | 718     | 14,610  | 2,443      |
| 長崎県  | 16,840       | 262     | 2,884   | 1,076      |
| 熊本県  | 58,719       | 436     | 64,571  | 2,791      |
| 大分県  | 23,572       | 268     | 11,379  | 1,307      |
| 宮崎県  | 43,050       | 251     | 4,692   | 1,961      |
| 鹿児島県 | 52,542       | 264     | 21,679  | 3,429      |
| 九州合計 | 252,873      | 2,928   | 144,754 | 15,506     |

### 多面的機能支払交付金の対象活動、活動例

#### 【農地維持支払】

水路の泥上げや草刈り、農道の路面維持等の地域資源の基礎的保全活動や農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化等、多面的機能を支える地域共同活動を支援



【年度活動計画の策定】



【農地法面の草刈り】



【水路の泥上げ】



【農道の路面維持】

#### 【資源向上支払(共同)】

水路、農道等の軽微な補修、景観形成等の農村環境の良好な保全といった地域資源の質的向上を図る共同活動を支援



【施設の機能診断】



【ひび割れの補修】



【生きもの調査】



【外来種駆除】

#### 【資源向上支払(長寿命化)】

農地周りの水路、農道等の補修・更新等による施設の長寿命化のための活動を支援



【水路の更新】



【未舗装農道の舗装】

# 地域(農村)－ 棚田を含む中山間地域等の活性化－

## 【棚田を含む中山間地域等の活性化に向けた取組の推進】

棚田を多く含む中山間地域は、農産物の供給にとどまらず、国土の保全、水源の涵養、生物の多様性の確保や良好な景観の形成等の多面的機能を有しています。

しかしながら、平地に比べその地形的な条件の不利性もあり、農業の担い手の減少や荒廃農地の増加が進行し、多面的機能の低下が懸念されています。

このため、農林水産省では、中山間地域での農業生産活動が継続的に行われるよう、中山間地域等直接支払制度や棚田地域振興法に基づく各種支援等を講じています。

また、令和3(2021)年度に棚田地域の振興に関する取組を積極的に評価し、国民の皆さまに棚田の有する多面的な機能に対するより一層の理解と協力をいただくことを目的として、優良な棚田を認定する取組「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」を実施しており、九州管内では68棚田(全国で271棚田)が認定されています。

## 令和6年(2024)度中山間地域等直接支払制度の実施状況(実績)

(交付面積単位: ha)

| 県 名    |      | 交付<br>市町村数 | 協 定 数  |      |        | 交付面積    | (参考)<br>令和5(2023)年度<br>協定数 |         |
|--------|------|------------|--------|------|--------|---------|----------------------------|---------|
|        |      |            | 集落協定   | 個別協定 | 計      |         | 協定数                        | 交付面積    |
| 九<br>州 | 福岡県  | 32         | 525    | 6    | 531    | 4,911   | 531                        | 4,914   |
|        | 佐賀県  | 19         | 465    | 0    | 465    | 6,608   | 464                        | 6,597   |
|        | 長崎県  | 19         | 889    | 45   | 934    | 9,842   | 931                        | 9,550   |
|        | 熊本県  | 36         | 1,308  | 10   | 1,318  | 31,604  | 1,319                      | 31,604  |
|        | 大分県  | 17         | 1,209  | 27   | 1,236  | 15,823  | 1,234                      | 15,834  |
|        | 宮崎県  | 21         | 349    | 0    | 349    | 5,222   | 349                        | 5,224   |
|        | 鹿児島県 | 27         | 642    | 1    | 643    | 7,214   | 644                        | 7,203   |
|        | 計    | 171        | 5,387  | 89   | 5,476  | 81,223  | 5,472                      | 80,926  |
| 都府県計   |      | 905        | 23,518 | 600  | 24,118 | 336,412 | 24,082                     | 335,493 |
| 北海道計   |      | 98         | 326    | 2    | 328    | 281,113 | 328                        | 276,841 |
| 全 国 計  |      | 1,003      | 23,844 | 602  | 24,446 | 617,525 | 24,410                     | 612,334 |

資料: 農林水産省「令和6年度中山間地域等直接支払交付金の実施状況」(令和7(2025)年8月30日公表)

注: 数値は、四捨五入の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

## つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～

| 県名   | 認定数 |
|------|-----|
| 福岡県  | 5   |
| 佐賀県  | 10  |
| 長崎県  | 9   |
| 熊本県  | 17  |
| 大分県  | 10  |
| 宮崎県  | 13  |
| 鹿児島県 | 4   |
| 計    | 68  |



ホームページ:

[https://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/220224\\_tanada\\_sinkou.html##tanadaisan](https://www.maff.go.jp/kyusyu/keikaku/220224_tanada_sinkou.html##tanadaisan)

# 地域（農村）－環境保全型農業－

## 【環境保全型農業の推進】

九州農政局では、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業である「環境保全型農業」を推進しています。

環境保全型農業直接支払交付金では、有機農業や、化学肥料・化学合成農薬の使用を都道府県の慣行レベルから原則5割以上低減する取組と合わせて行う堆肥の施用など、環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行っています。

九州における環境保全型農業直接支払交付金（令和6（2024）年度）の実施面積は7,720haであり、全国の8.5%を占めています。

実施面積の大きい支援対象取組は、有機農業（3,100ha、40%）、地域特認取組（1,640ha、21%）、堆肥の施用（1,640ha、21%）、カバークロップ（1,264ha、16%）の順となっています。

\* 地域特認取組とは、地域の環境や農業の実態等を勘案した上で、地域を限定して支援の対象とする取組をいう。  
（例：総合的病害虫・雑草管理（IPM）、冬期湛水管理など）

## ○九州における支援対象取組別の実施面積（令和6年度）

| 区分   | 実施面積<br>(単位: ha) | 支援対象取組別 |         |         |      |       |       |       |        |        |
|------|------------------|---------|---------|---------|------|-------|-------|-------|--------|--------|
|      |                  | 堆肥の施用   | カバークロップ | リビングマルチ | 草生栽培 | 不耕起播種 | 長期中干し | 秋耕    | 有機農業   | 地域特認取組 |
| 福岡県  | 1,031            | 342     | 373     | 2       | 3    | 48    | -     | -     | 256    | 7      |
| 佐賀県  | 266              | -       | 75      | -       | -    | 9     | -     | -     | 64     | 119    |
| 長崎県  | 1,594            | 278     | 79      | -       | 2    | -     | -     | -     | 136    | 1,100  |
| 熊本県  | 2,081            | 290     | 321     | -       | 5    | -     | -     | 5     | 1,051  | 409    |
| 大分県  | 421              | 157     | 85      | -       | -    | -     | -     | -     | 174    | 5      |
| 宮崎県  | 734              | 181     | 137     | -       | -    | -     | -     | 2     | 413    | -      |
| 鹿児島県 | 1,593            | 393     | 194     | -       | -    | -     | -     | -     | 1,006  | -      |
| 九州   | 7,720            | 1,640   | 1,264   | 2       | 11   | 57    | -     | 7     | 3,100  | 1,640  |
| 全国   | 90,615           | 24,097  | 16,031  | 3,889   | 47   | 135   | 3,744 | 1,896 | 14,631 | 26,146 |

注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計とその内訳の積算値が一致しない場合がある。

資料：「令和6年度環境保全型農業直接支払交付金の実施状況」

## ○環境保全型農業の取組による効果

### 堆肥の施用



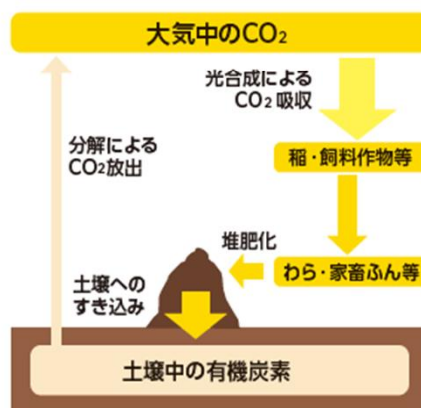
地球温暖化  
防止効果

主作物の栽培期間の前後のいずれかに堆肥を施用する取組



堆肥（有機物）を農地土壌に施用することで、土壌中の炭素貯留量を増加させ、間接的に大気中のCO<sub>2</sub>削減に貢献

### 取組による効果



わらや家畜ふん等から製造した堆肥を土壌にすき込むことで、稲や飼料作物が生育中に吸収したCO<sub>2</sub>を有機炭素として土壌中に蓄積。土壌中の有機炭素は時間とともに分解されるが、分解される有機炭素の量よりも土壌に入る有機炭素の量が多ければ土壌中の有機炭素量は増加する。

資料：農林水産省「環境保全型農業の取組による効果」

# 地域 — 再生可能エネルギーの利用(バイオマス) —

## 【再生可能エネルギーの活用による農山漁村の活性化の取組の推進】

再生可能エネルギーの導入と併せて地域の農林漁業の健全な発展に資する取組を促進するため、「農山漁村再生可能エネルギー法（平成26(2014)年5月施行）」に基づき、売電収入の地域還元、雇用の確保、未利用資源の有効活用などの取組が進められています。

九州では、令和7(2025)年度に宮崎市が同法に基づく基本計画を新たに作成し、令和8(2026)年6月末現在、7県29市町が作成しています。

## 【バイオマス産業都市の推進】

バイオマス産業都市とは、地域の特色を活かしたバイオマス産業を軸とした環境にやさしく災害に強いまち・むらづくりを目指す地域であり、関係7府省（内閣府、総務省、文部科学省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省）が共同で選定し、構想の具体化に向けた取組を推進しています。

九州では、令和7(2025)年度に西都市が新たに選定され、令和8(2026)年6月末現在、6県16市町が選定されています。

### 九州の農山漁村再生可能エネルギー法に基づく 基本計画作成市町村一覧

(令和8(2026)年6月末現在)

| 県    | 市 町   | 作成年度<br>(カッコ内最終改定年度) | 電 源 種 類 (規模 (KW))                                 |
|------|-------|----------------------|---------------------------------------------------|
| 福岡県  | 筑前町   | 令和元年度                | 木質バイオマス (5,700KW)                                 |
|      | 田川市   | 令和3年度                | 木質バイオマス (1,999KW)                                 |
| 佐賀県  | 唐津市   | 平成27年度 (令和7年度)       | 風力 (42,650KW)                                     |
|      | 伊万里市  | 平成29年度               | 木質バイオマス (9,850KW)                                 |
| 長崎県  | 五島市   | 平成30年度               | 風力 (600KW)                                        |
| 熊本県  | 八代市   | 平成27年度 (令和元年度)       | 木質バイオマス (6,750KW)                                 |
|      | 荒尾市   | 平成28年度 (平成29年度)      | 木質バイオマス (12,500KW)                                |
|      | 菊池市   | 平成26年度 (令和2年度)       | 太陽光 (7,098KW)<br>木質バイオマス (6,250KW)<br>小水力 (130KW) |
|      | 小国町   | 平成30年度               | 地熱 (50KW)                                         |
|      | 甲佐町   | 令和5年度                | 木質バイオマス (1,990KW)                                 |
|      | 山都町   | 平成29年度 (令和7年度)       | 太陽光 (90,000KW)                                    |
|      | 錦町    | 令和4年度                | 木質バイオマス (1,995KW)                                 |
|      | (未公開) | 平成28年度               | 小水力 (3KW)                                         |
|      | (未公開) | 平成28年度               | 小水力 (3KW)                                         |
| 大分県  | 大分市   | 令和6年度                | 木質バイオマス (22,000KW)                                |
|      | 日田市   | 平成28年度 (令和元年度)       | 木質バイオマス (17,700KW)                                |
|      | 豊後大野市 | 平成29年度               | 木質バイオマス (18,000KW)                                |
|      | 臼杵市   | 令和元年度                | 木質バイオマス (45KW)                                    |
| 宮崎県  | 宮崎市   | 令和7年度                | 木質バイオマス (9,000KW)                                 |
|      | 都城市   | 平成29年度 (令和4年度)       | 畜産系バイオマス (3,210KW)<br>木質バイオマス (5,750KW)           |
|      | 日南市   | 平成29年度               | 木質バイオマス (25,400KW)                                |
|      | 日向市   | 平成29年度 (令和4年度)       | 木質バイオマス (32,500KW)                                |
|      | 串間市   | 平成28年度 (令和5年度)       | 風力 (64,800KW)<br>木質バイオマス (4,940KW)                |
|      | 川南町   | 平成28年度 (令和4年度)       | 畜産系バイオマス (22,700KW)<br>木質バイオマス (11,500KW)         |
|      | 都農町   | 平成29年度               | 木質バイオマス (5,750KW)                                 |
|      | 都農町   | 平成29年度               | 木質バイオマス (5,750KW)                                 |
| 鹿児島県 | 枕崎市   | 平成30年度               | 木質バイオマス (1,990KW)                                 |
|      | 垂水市   | 平成29年度 (令和4年度)       | 畜産系バイオマス (3,140KW)                                |
|      | 薩摩川内市 | 平成26年度 (平成28年度)      | 風力 (27,600KW)<br>木質バイオマス (23,700KW)               |
|      | 霧島市   | 平成28年度               | 木質バイオマス (5,750KW)                                 |
|      | さつま町  | 令和2年度                | 木質バイオマス (1,990KW)                                 |

### 九州のバイオマス産業都市一覧

(令和8(2026)年6月末現在)

| 県    | 市 町   | 選定年度   |
|------|-------|--------|
| 福岡県  | みやま市  | 平成26年度 |
|      | 宗像市   | 平成27年度 |
|      | 糸島市   | 平成28年度 |
|      | 朝倉市   | 令和元年度  |
| 佐賀県  | 佐賀市   | 平成26年度 |
|      | 玄海町   | 令和元年度  |
| 熊本県  | 南小国町  | 令和5年度  |
| 大分県  | 佐伯市   | 平成26年度 |
|      | 臼杵市   | 平成27年度 |
|      | 国東市   | 平成28年度 |
|      | 竹田市   | 令和元年度  |
| 宮崎県  | 小林市   | 平成27年度 |
|      | 川南町   | 令和3年度  |
|      | 西都市   | 令和7年度  |
| 鹿児島県 | 薩摩川内市 | 平成28年度 |
|      | 長島町   | 平成28年度 |

# 地域(農村) — かんがい施設 —

## 【世界かんがい施設遺産の登録】

世界かんがい施設遺産は、かんがいの歴史・発展を明らかにし、理解醸成を図るとともに、かんがい施設の適切な保全に資するために、歴史的なかんがい施設を国際かんがい排水委員会(ICID)が認定・登録する制度です。

登録により、かんがい施設の持続的な活用・保全方法の蓄積、研究者・一般市民への教育機会の提供、かんがい施設の維持管理に関する意識向上に寄与するとともに、かんがい施設を核とした地域づくりに活用されることが期待されています。

これまでに、我が国を含め21ヵ国200施設、国内では56施設、そのうち九州では、8施設が登録されています(令和7(2025)年10月現在)。

## 【九州の世界かんがい施設遺産】

### ①【山田堰・堀川用水・水車群】

福岡県朝倉市(平成26(2014)年登録)  
先人の知恵が時代と場所を越え受け継がれるかんがい施設



朝倉市の三連水車

### ②【通潤用水】

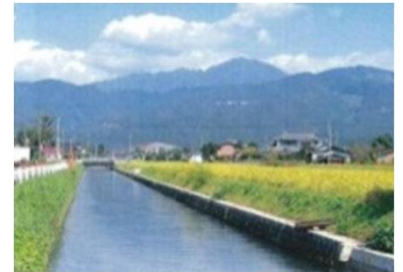
熊本県大和町(平成26(2014)年登録)  
日本最大級の石造アーチ水路橋により台地を潤す



通潤橋

### ③【幸野溝・百太郎溝水路群】

熊本県多良木町(平成28(2016)年登録)  
頑強な石トンネルと先進的環境思想が受け継がれる水路群



幸野溝

### ④【白川流域かんがい用水群】

熊本県熊本市、菊陽町、大津町  
(平成30(2018)年登録)  
くまもと地域の水循環と街を支える農業用水



馬場楠井手の鼻ぐり

### ⑤【菊池のかんがい用水群】

熊本県菊池市(令和元(2019)年登録)  
水田開発と農業水利の歴史的発展を伝えるフィールドミュージアム



原井手下り

### ⑥【宇佐のかんがい用水群】

大分県宇佐市(令和3(2021)年登録)  
宇佐宮の水田開発に表れた先駆的で多彩な農業土木技術の集合と結合



平田頭首工

### ⑦【湯の口ため池・井手】

熊本県山鹿市(令和7(2025)年登録)  
約170年前に建築された山鹿市蒲生地域の農業を支える施設



湯の口ため池

### ⑧【竹田のかんがい用水群】

大分県竹田市(令和7(2025)年登録)  
大野川上流の中山間部の水田をかんがいの「大小21本の用水路群」



城原井路

世界かんがい施設遺産に登録されている施設の概要はこちら



# 地域(農村) — 農業遺産 —

## 【世界農業遺産・日本農業遺産の認定】

農業遺産は、伝統的な農林水産業を営む地域(農林水産業システム)を認定する制度であり、国際連合食糧農業機関(FAO)が認定する世界農業遺産と農林水産大臣が認定する日本農業遺産があります。

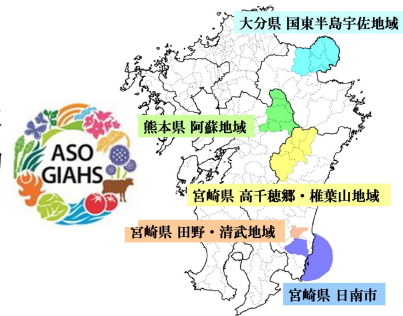
九州では、世界農業遺産3地域と日本農業遺産2地域が認定されています。

九州農政局では、九州の認定地域が情報を共有し、連携して効果的な取組を進められるよう、認定地域合同の情報交換会や消費者の部屋での展示を通じた情報発信を行っています。

### 【世界農業遺産(平成25(2013)年5月 認定)】熊本県阿蘇地域

#### 「阿蘇の草原の維持と持続的農業」

阿蘇の広大な草原は、野焼き、放牧・採草という農業上の利用により千年もの長い間維持されてきたもので、この営みを通じて地域固有の文化、生物多様性、景観が形成され、今も多様で豊かな資源が守られています。



### 【世界農業遺産(平成25(2013)年5月 認定)】大分県国東半島宇佐地域

#### 「クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環」

しいたけ栽培のほだ木に利用するクヌギは、約15年のサイクルで伐採・萌芽・再生を繰り返し、クヌギ林が維持されます。クヌギ林は雨水を蓄え、その有機物を含んだ湧水は、連携した複数のため池を通じ農林水産業を支えるとともに多様な生態系を育んでいます。



### 【世界農業遺産(平成27(2015)年12月 認定)】宮崎県高千穂郷・椎葉山地域

#### 「高千穂郷・椎葉山の山間地農林業複合システム」

高千穂郷・椎葉山地域では、面積の約92%が森林を占める平地が極めて少ない状況下において、自然と調和した「山間地農林業複合システム」を構築してきました。そこには、農林業だけでなく、古来からの伝統文化を継承する強固な地域コミュニティが存在し、当地域のシステムの要となっています。



### 【日本農業遺産(令和3(2021)年2月 認定)】宮崎県日南市

#### 「造船材を産出した飢肥林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」」

「日南かつお一本釣り漁業」は、日本近海を北上するかつおを船団で追い、漁師が竿で一匹一匹釣り上げていく漁業です。造船材に特化した人工造林を行った特殊な飢肥林業と絡み合い、今日まで地域を支える産業として継承されています。



### 【日本農業遺産(令和3(2021)年2月 認定)】宮崎県田野・清武地域

#### 「宮崎の太陽と風が育む「干し野菜」と露地畑作の高度利用システム」

田野・清武地域の農業は、気候風土を活かし、年間を通じた露地畑作と「干し野菜」の技術を多角的に組み合わせたシステムとして発展してきました。冬季に「大根やぐら」が建ち並ぶ風景は、この地域ならではのランドスケープです。



## 【九州3県農業遺産フェア】

熊本県、大分県、宮崎県の合同事業として、令和7(2025)年11月24日、福岡県粕屋郡粕屋町のイオンモール福岡において「九州3県農業遺産フェア」が開催されました。

パネルやパンフレットの展示、世界及び日本農業遺産ブランド認証品等の販売の他、特産品が当たるガラポン抽選会等が実施されました。御来場いただいた多くの方々に、農業遺産地域の紹介や認定地域の認証品等の販売を通じて、農業遺産地域の魅力を発信することができました。



農業遺産フェアの様子

# 地域(農村) — むらの宝 —

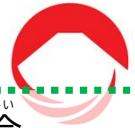
## 【ディスカバー農山漁村(むら)の宝の選定】

農林水産省及び内閣官房は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の地域資源を引き出すことにより地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定し、全国へ発信しています。

令和7(2025)年度(第12回)は、全国の449の団体・個人から応募があり、30事例が全国選定されました(うち九州からは29の団体・個人の応募があり、2事例が全国選定)。

また、九州農政局では、全国選定されたもの以外にも九州独自の特長ある優れた取組があることから、3事例を令和7年度九州農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」として選定し、これらの取組についても全国へ発信しています。

## 令和7(2025)年度 農林水産省「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」



### そのぎ かせんたん 彼杵おもしろ河川団 (長崎県東彼杵町)



【彼杵小学校林での森林間伐体験】  
【彼杵川第3の魚道の改築の  
発案及び工事の監修】

海・川・山をつなぐ環境再生に継続的に取り組み、森林保全から魚道整備、資源循環、次世代育成まで地域連携で総合的な保全体制を構築している。

### しんかいぎょ けんきゅうかい かごしま深海魚研究会 (鹿児島県鹿児島市)



【うんまか深海魚を使って  
作り食べるイベント】

産学官でかごしま深海魚研究会を設立し、深海魚を核にした水産業・外食産業・観光産業の活性化を目指す取り組みを開始。未利用魚を「うんまか深海魚」ブランドとして商品化。

## 令和7(2025)年度 九州農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」

### たから かぶしきがいしゃ うきはの宝 株式会社 (福岡県うきは市)



【福岡県内で喫茶店  
「ばあちゃん喫茶」を展開】

さつまいも等を使った加工品の一貫生産・直販で事業を拡大し、「ばあちゃん喫茶」の展開によって「ばあちゃんビジネス」を他地域へ広げている。

### いっばんしゃだんほうじん みくつ 一般社団法人 福津いいざい (福岡県福津市)



【イオンモールで子ども達が  
地域食材弁当を販売】

福津市と直売所等が連携し設立した地域商社として、生鮮・加工品の販売や食育、県産品の普及を進めている。

### たかだ かずと 高田 一人 (宮崎県日向市)



【デジタルノマドの受け入れ】

細島の活性化のため、漁業のICT化から観光・ワーケーション受入れ、未利用資源のEC販売まで様々な海業に取り組んでいる。

各事例の詳細は「九州農政局 ディスカバー」で検索！



# 地域(農村) — 農泊の推進 —

## 【農山漁村の所得向上に向け農泊の取組を支援】

「農泊」とは、農山漁村に宿泊し、滞在中に地域資源を活用した食事や体験等を楽しむ「農山漁村滞在型旅行」のことです。近年、地域資源を観光コンテンツとして活用し、国内外の観光客を農山漁村に呼び込み、地域の所得向上と活性化を図る取組が増えてきましたが、コロナ禍により農泊地域の宿泊者数は大きく減少しました。

農林水産省では、「農泊推進実行計画」をとりまとめ、①コロナ禍で疲弊した「農泊地域の実施体制を再構築する」、②これまでに整えたコンテンツを広く可視化し「まずはわが農山漁村に来てもらう」、③訪れた人にとっても「いつも、いつまでも居て楽しめる農山漁村にする」の3つの方向性に沿って関係者が連携して取り組み、「食料・農業・農村基本計画」では、令和11(2029)年度までに農泊地域での年間延べ宿泊者数を1,200万人泊とする目標を立てています。

また、平成29(2017)年度から農山漁村振興交付金に「農泊推進対策」を創設し、令和6(2024)年度末までに全国で673地域（九州は100地域）の農泊に取り組む地域を支援しています。

| 採択地域数         | 福岡県 | 佐賀県 | 長崎県 | 熊本県 | 大分県 | 宮崎県 | 鹿児島県 | 合計  |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|
| 令和7(2025)年3月末 | 18  | 6   | 11  | 24  | 11  | 7   | 23   | 100 |

## 農泊（農山漁村滞在型旅行）



## 九州シン農泊合宿交流会



九州地域の実践者、これから農泊をはじめようと考えている方、行政関係者等を参集し、「九州シン農泊合宿交流会」と題し、農泊地域の取組発表や地域おこし事業の取組紹介など、知見の共有やネットワークづくりのための交流会を令和7(2025)年10月に開催。令和8(2026)年度も開催し、九州地域の農泊の推進を図ることとしています。

# 地域(農村) — 農業と福祉との連携 —

## 【農福連携の推進】

農福連携は、農業と福祉が連携し、障がい者の農業分野での活躍を通じて、農業経営の発展とともに、障がい者の自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組です。

令和6(2024)年6月5日、農福連携等推進会議において「農福連携等推進ビジョン(2024改訂版)」が決定され、農福連携等に取り組む主体数を令和12(2030)年度末までに1万2千以上とし、地域協議会に参加する市町村数を200以上とする新たな目標が掲げられました。

九州農政局では、農業、福祉両サイドの関係行政機関で構成する「九州地域農福連携推進情報連絡会」での農業と福祉のニーズに係る情報共有や意見交換、「九州地域農福連携促進ネットワーク」を通じての情報発信、農山漁村振興交付金による支援のほか、地域単位での農業と福祉のネットワークづくり、地域内のルールづくり、マッチング等、地域単位の推進体制づくりの契機となるよう、管内の関係者を集めた「農福連携等地域別交流会in九州農政局」を開催する等により、農福連携の推進を図っています。

## 【ノウフク・アワード2025】



国民運動としての機運を高め、農福連携の全国的な展開につなげることを目的として、令和2(2020)年度から、全国で農福連携に取り組んでいる団体・企業や個人を募集し、農福連携の優れた取組をノウフク・アワードとして表彰しています。

ノウフク・アワード2025では、審査委員会において、「人を耕す」、「地域を耕す」、「未来を耕す」という3つの視点から総合的に審査が行われ、全国で21の団体が受賞し、九州からは2団体が準グランプリを受賞しました。

## 【準グランプリ】

### 「人を耕す」部門

社会福祉法人新友会ひまわり畑  
(大分県大分市)

### 「地域を耕す」部門

佐賀県  
(佐賀県)



## 農山漁村振興交付金(農福連携型)活用団体 (平成29(2017)年度～令和7(2025)年度)

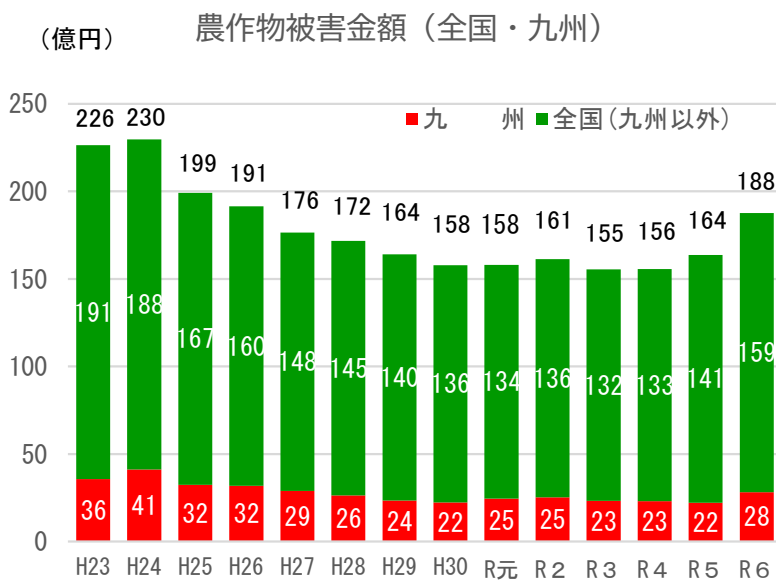
| 県 名 | ハード整備支援<br>+ソフト対策支援 | ソフト対策支援 | 人材育成支援 | 実施団体計 |
|-----|---------------------|---------|--------|-------|
| 福 岡 | 11                  | 1       | -      | 12    |
| 長 崎 | 1                   | 1       | -      | 2     |
| 熊 本 | 7                   | 3       | 2      | 12    |
| 大 分 | 3                   | -       | -      | 3     |
| 宮 崎 | 5                   | -       | 1      | 6     |
| 鹿児島 | 7                   | 2       | -      | 9     |
| 九州計 | 34                  | 7       | 3      | 44    |

# 地域(農村) — 鳥獣被害対策 —

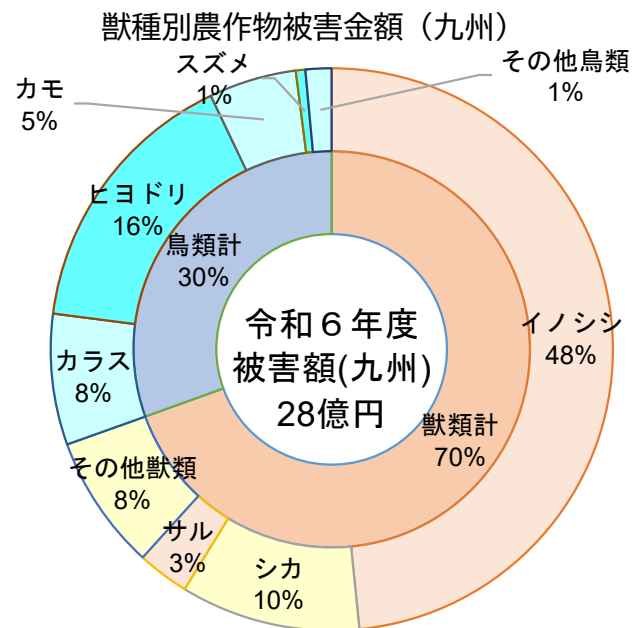
## 【野生鳥獣による九州の農作物被害額は増加】

令和6(2024)年度の野生鳥獣による九州の農作物被害額は28億円で、前年度と比較して6億円増加しました。九州の農作物被害額は、平成24(2012)年度の41億円をピークに減少し、近年は横ばいで推移していましたが、ヒヨドリ等の鳥類及びイノシシによる農作物被害により増加しています。獣種別では、イノシシ、鳥類、シカの順に被害額が多く、これらの獣種で約9割を占めています。

農林水産省では、被害防止計画を作成した市町村に対して、鳥獣被害防止総合対策交付金により、①鳥獣侵入防止柵設置などによる被害防除、②鳥獣が農地に近づくのを防ぐための草刈り、伐採などの環境整備、③農地に侵入を繰り返すようになった有害個体の捕獲の3対策を組み合わせる総合的な取組の支援を継続するとともに、ICTを活用した鳥獣被害対策の効率化、広域で連携した捕獲強化の取組を推進し、被害の防止に努めています。



資料：農林水産省調べ



資料：農林水産省調べ

## 【ICTを活用した取組事例】

ICT等の新技術を導入し、得られたデータを活用した効果的、効率的な鳥獣害対策の普及を推進するため、令和7(2025)年度から「スマート捕獲等普及加速化事業」を開始しました。

本事業により、ICT機器等を活用した鳥獣被害対策の実証及び他地域への横展開を九州5地区のモデル地区で取り組んでいます。

### ICTを活用した鳥獣被害対策



捕獲確認アプリ



ドローンによる生息調査



害獣捕獲通知センサー (AIカメラ付き)



遠隔操作システム付罠いわな



鳥獣被害対策  
コーナー



スマート捕獲等  
普及加速化事業

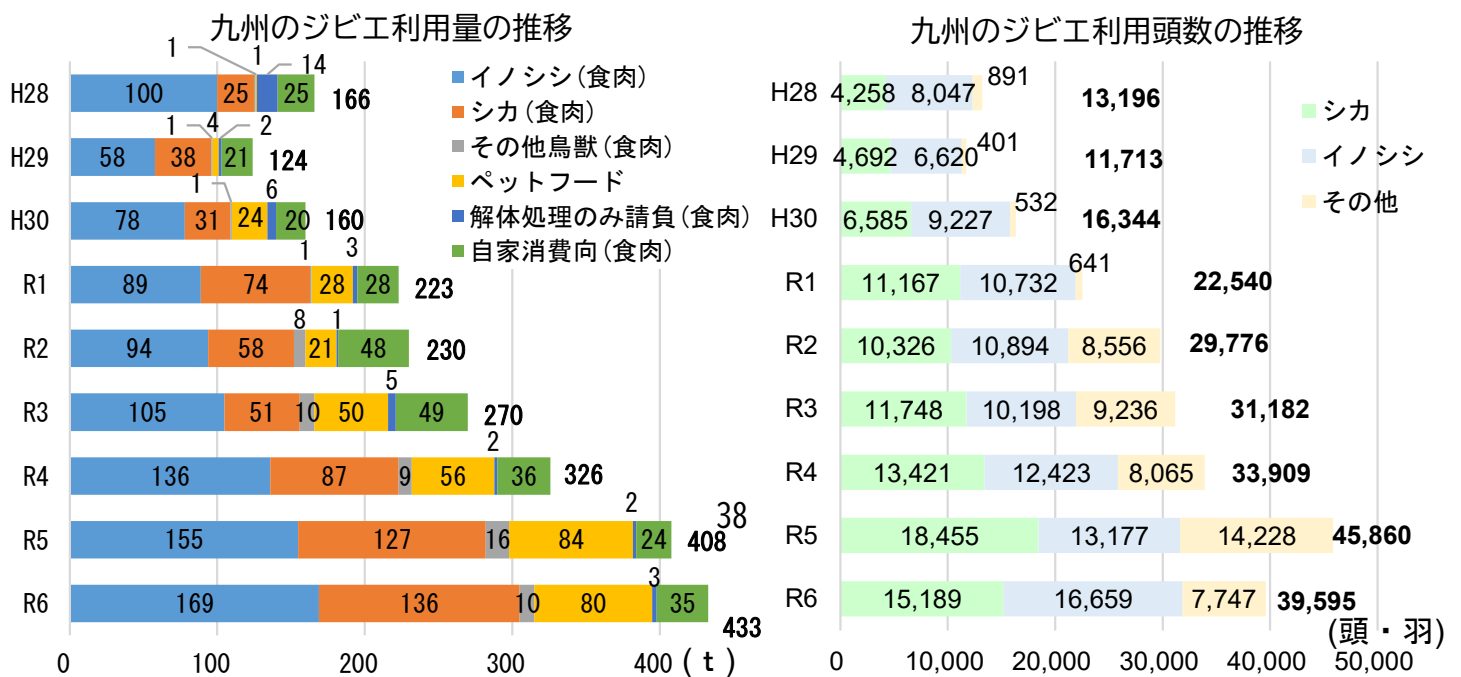
# 地域(農村)ージビエ利用拡大ー

## 【捕獲した鳥獣のジビエ利用拡大】

令和6(2024)年度に九州の食肉処理施設が処理した野性鳥獣のジビエ利用量は433 tで、前年度と比較して25 t(6%)増加しました。

このうち、食肉として利用されたのは353 t、ペットフードとして利用されたのは80 tで、近年、ペットフードの利用が増加傾向にあります。

農林水産省では、捕獲した鳥獣を地域資源として活用するためジビエの利活用を推進しており、鳥獣被害防止総合対策交付金により、ジビエ処理加工施設等の整備を支援するとともに、九州各県においては、ジビエフェアの開催、学校給食での活用など、ジビエの利用拡大に向けた様々な取組が行われています。



## 【ジビエを楽しむ！】

農林水産省では、ジビエ専門ポータルサイト「ジビエト」を開設し、こだわりのジビエ料理が食べられる全国各地の飲食店や、皮革製品等のショップ情報を掲載するほか、おうちで作れるジビエレシピやジビエが食べたくなる動画など、ジビエを知って楽しむ様々な情報を紹介しています。

また、全国約2,100店舗(令和6(2024)年度実績)の飲食店等が参加する「全国ジビエフェア」を開催(10月～翌年2月)したほか、ジビエ料理の普及・展開を図るため「ジビエ料理コンテスト」を実施しました。

ジビエ料理コンテスト(第10回受賞料理)

～ 農林水産大臣賞 ～

【一般部門】

猪肉と鹿肉真薯のお椀  
～感謝して頂く命の恵み～  
今井湧貴  
(辻調理師専門学校・大阪)

【小・中・高校生部門】

ガパオ・クワン・サップ  
高橋侑志  
(佼成学園中学校2年)



ジビエポータルサイト  
ジビエト



全国ジビエフェア